



普及指導センターは農業者とともに
地域農業の発展に全力を尽くします。

令和4年度普及センターだより

We LOVE農業！！

～高粱の農業の動きを紹介します～

～写真で見る普及活動～

ぶどうの講習会



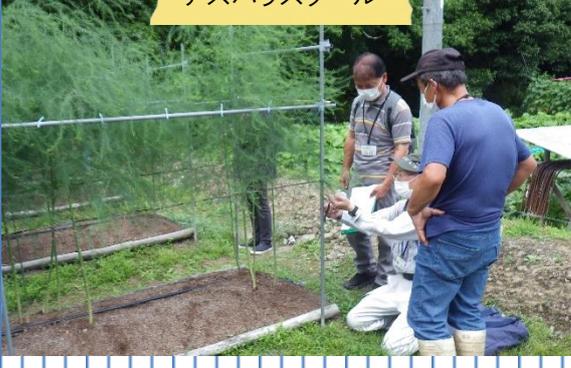
吹屋でのPR活動



高粱茶`小学校での出前授業



アスパラスクール



栽培管理支援システムの導入支援



フォックスフェイスの展示



採種ほ場審査



個別経営相談



～目次～

「美王 [®] 」と「天空の実り [®] 」の販売力強化を目指して	…P1
部会奨励品種の紹介～もも～	…P2
アスパラガスの新規栽培者確保の取組	…P2
「鬼退治桃太郎トマト」の生産力強化	…P3
スマート農業研修会を開催	…P4
ラジコン草刈機実演会を開催	…P5
経営に関する研修会(ステップアップ研修会)を開催	…P5
6次化商品のPRに向けて	…P6
乳牛の育成に取り組んでいます(大池山育成牧場)	…P7
フォックスフェイスの販売に力を入れています	…P7
高粱農業士会の活動紹介	…P8
新規就農者募集に向けた情報発信	…P8
はじめまして！新規就農者を紹介します！	…P9
おめでとうございます！～令和4年度受賞者・受賞団体～	…P10～11



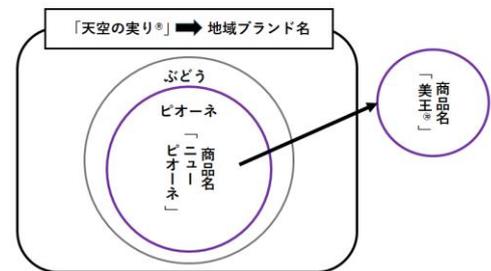
「美王[®]」と「天空の実り[®]」の販売力強化を目指して



普及指導センターは、びほくぶどうのブランド力の強化を目的に、令和元年度にJA晴れの国岡山びほくぶどう生産部会を中心に、JA、市、県等でプロジェクトチームを結成し、「美王[®]」と「天空の実り[®]」の販売力強化を図っています。今年度は、びほく産ぶどうの「美王[®]」と「天空の実り[®]」のブランド再構築と知名度向上に向けた活動に取り組みました。

○マーケティング戦略の再構築

ピオーネの上位等級品の「美王[®]」は関西の百貨店や高級果専門店での販売で意識統一できましたが、「天空の実り[®]」の位置づけやターゲットはこれまで明確にしていなかったため、平成30年度に策定したマーケティング戦略を見直すことになりました。関係機関で事前打合せの上、マーケティング会議で再度検討し、「天空の実り[®]」を「地域ブランド」に位置づけ、マーケティング戦略を策定しました。



「天空の実り[®]」の位置づけ

○新たな販売促進資材の作成

「美王[®]」と「天空の実り[®]」のそれぞれの販売促進資材を新たに作成するために、仲卸に店頭で需要があると思われるPR資材について調査し、要望が高かったポスター、リーフレットを作成しました。



販促資材（仮の写真）

さらに、販促資材に使用するキャッチコピーを「美王[®]」は「黒紫（こくし）の至宝」、「天空の実り[®]」のピオーネは「雲海からの贈り物」に決定しました。

○消費者へのPR活動

城まちステーションと吹屋ふるさと村の2か所で観光客を対象に「美王[®]」と「天空の実り[®]」の認知度を調査しました。「美王[®]」も「天空の実り[®]」も認知度が低いことが分かりました。

次年度から新たに作成した資材を活用し、PR活動を強化していきます。



城まちステーションでの認知度調査

部会奨励品種の紹介～もも～

J A 晴れの国岡山びほく桃部会は、労働力分散を目的として生産が安定し、地域に普及している 10 品種を奨励品種として選定しました。そこで、普及指導センターは、令和 4 年産の果実を用いて外観や品質を調査しました(表 1)。

ももは、樹齢が 15 年生を超えると徐々に生産性が低下します。計画的に改植や新植を行うための参考にしてください。

表 1 令和 4 年産の部会推奨品種の品質評価

品種	成熟時期	果実重(g)	果皮		糖度(Brix)	食味	渋み
			着色	裂皮(%)			
加納岩白桃	7/1~7/14	232	微	無	12.5	やや良	微
白鳳	7/6~7/29	260	微	無	11.7	普通	無~少
清水白桃	7/15~8/17	255	難	無	11.5	普通	微~少
おかやま夢白桃	7/19~8/22	266	多	無	12.1	やや良	無
川中島白桃	7/29~8/24	263	多	無	12.2	良	無
白麗	8/5~8/31	249	多	無	14.1	良	無
白皇	8/12~8/29	247	無	有	13.7	優	無
瀬戸内白桃	8/12~9/12	266	微	無	13.3	良	無
黄金桃(サンゴールド)	7/31~9/16	266	微	無	13.8	やや良	無
黄金桃(ゴールデンピーチ)		266	微	無	13.5	やや良	無

※食味は、普通→やや良→良→優の順に高い評価を示す。

アスパラガスの新規栽培者確保の取組

びほく地域アスパラガス生産部会は、新規栽培者の確保と育成を目的に、令和 2 年度から栽培に関心を持っている人を対象に部会員の栽培ほ場で現地見学会を開催しています。また、令和 3 年度からは、普及指導センター、市、J A が連携し、ほ場での講義、実習を行う「アスパラスクール」を開校してきました。その結果、令和 4 年度、2 名の新規栽培者が誕生しました。

アスパラガス産地の維持発展のため、新規栽培者の確保と育成に向けた活動を関係機関と連携しながら引き続き取り組んでいきます。

各種確保活動への参加数 (人)

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	計
現地見学会	2	3	2	7
新規栽培者説明会	8	4	-	12
アスパラスクール		4	4	8



アスパラスクールでの実習



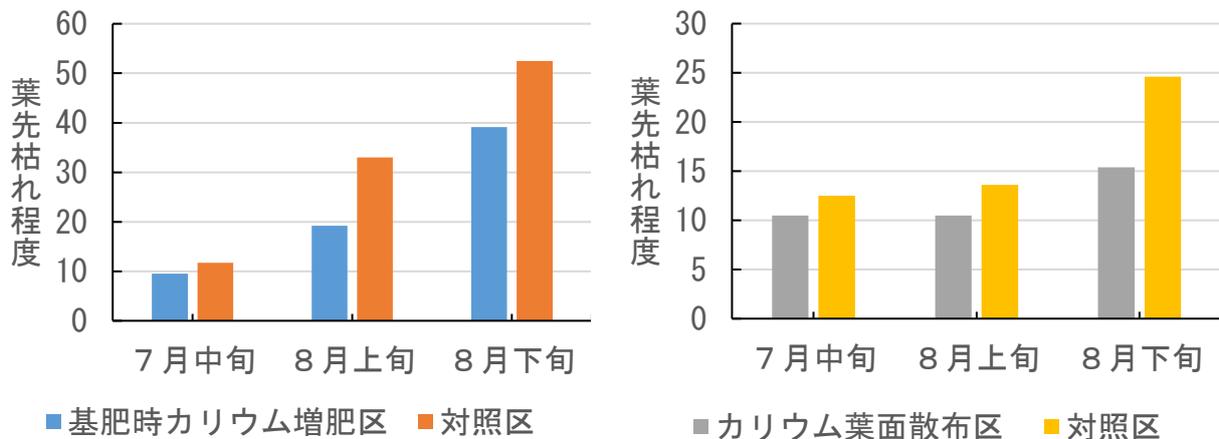
「鬼退治桃太郎トマト」の生産力強化



○既存品種の葉先枯れ症状軽減実証ほの紹介

J A 晴れの国岡山びほくトマト部会は、近年、生理障害である葉先枯れ症状の発生が問題となっています。昨年、その発生要因に土壌のカリウム飽和度や着果量との相関関係が確認されたため、今年は基肥や葉面散布によるカリウムの増肥と酸素供給剤を用いた根域環境改善対策を検証しました。

その結果、酸素供給剤の施用区では期待した効果は得られませんでした。基肥時カリウム増肥区やカリウム葉面散布区では、葉先枯れ症状が軽減されました。今後、さらに効果的な対策技術を検討していく予定です。



○裂果が少ない桃太郎系統の新品種栽培実証の紹介

高温期の裂果対策及び着果率向上対策の1つとして、昨年度から新品種「TTM-170」を試作しています。

今年度の調査により、「TTM-170」は、裂果が少なく、秀品率が高いことがわかりました。また、着果数が多く、着色の進展速度が既存品種に比べ遅いため高温期でも収穫遅れ等が発生しにくいことも確認できました。

一方、節間が短いため生育初期の草勢が既存品種と異なることや秋期がやや小玉傾向となること等の課題も明らかになりました。引き続き、「TTM-170」の品種特性を把握し、導入について検討していきます。



桃太郎系統の新品種「TTM-170」



スマート農業研修会を開催



近年、水田農業は作業の省力化や高品質生産、生産性の向上を目的にスマート農業技術の導入を推進しています。中山間地域では、ほ場条件により導入できる技術が限定されますが、市内でも地域に適した技術の導入が徐々に進みつつあります。

8月9日に水稻農家や集落営農組織、中山間協定集落を対象に中井町で開催した「スマート農業研修会」では、地域で導入が期待される栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」の紹介と「農業用ドローン」の実演を行いました。

「ザルビオフィールドマネージャー」は、気象情報や衛星画像の解析データを基に、ほ場ごとに防除時期の予測や基肥の施肥設計、追肥の判断などへの活用が期待されており、全農より活用事例の紹介がありました。

「農業用ドローン」は、農薬散布作業や施肥作業の省力技術として期待されており、合計40aのほ場で穂肥の散布作業を30分程度(オペレーター2人)で行うことができました。



研修会の様子



ドローンによる追肥の様子



ザルビオに表示されるNDVIの画像

※ザルビオフィールドマネージャー (xarvio) は、使用料金が年間で13,200円(100筆まで)、2筆までは無料。

※衛星画像の解析データは、NDVI(正規化植生指数)やLAI(葉面積指数)といった指標で示され、水稻の生育量の大小を把握することができる。



ラジコン草刈機実演会を開催



近年、畦畔管理の省力化技術としてラジコン草刈機が注目されています。

11月2日、市内で開催したラジコン草刈機の実演会では、農機具メーカー4社、6機種を展示し、傾斜30度の法面での実演も行いました。また、参加者も実際の操作を行い、使用できる傾斜度や刈取れる草丈、法面の障害物への対応など、機種ごとの違いを体験しました。

機種により価格や性能に差があるので、導入する際は地域の畦畔の状況を踏まえて検討してください。



機種説明



実演風景



経営に関する研修会(ステップアップ研修会)を開催



普及指導センターは、認定農業者や新規就農者を対象に経営管理能力の向上を目的とした農業経営基礎、簿記記帳、税務などの経営研修会を開催しています。今年度は11月から1月に4回開催しました。

認定農業者のメリットとして、経営改善支援を受けることができます。今後も認定農業者の経営改善につながる研修会を開催しますので、積極的な御参加をお待ちしています。

令和4年度 ステップアップ研修会の内容

開催日	内容
11/1	農業経営基礎研修会 (収入保険、複式簿記、公庫資金、 農業者年金、家族経営協定)
11/18	簿記研修会 (日常の入力)
12/6	税務研修会 (消費税のインボイス制度)
1/19	簿記研修会 (決算)



農業経営基礎研修会



6次化商品のPRに向けて



○情報発信技術を学びました

高梁地域は、6次産業化への取組が盛んで、開発された6次化商品は、市内の直売所、観光施設のほか、各種イベントで販売されています。

今年は、もっと商品を知ってもらうための情報発信技術を磨こうと、お客様が欲しいと思うPOPの作成や接客トークについて、講義と実習の研修会を開催しました。

また、SNS研修会では、6次産業化DXアドバイザーから、デジタル技術を活用した情報発信について、基本から学びました。



実習でPOP作成にチャレンジ

○手みやげセットが好評！ふるさとの味

高梁の味ネットワークは、構成する5グループの商品を詰め合わせた「ふるさとの味セット」を夏・冬の年2回、全国に発送しています。

夏ギフトは、取っ手付きの箱を使った「手みやげセット」を新しく追加して、お盆や夏休みの帰省客に手軽に使ってもらえるように工夫しました。秋には、岡山桃太郎空港でも期間限定で販売されました。

これからも、手に取っていただきやすい商品づくりをめざして、ブラッシュアップを図っていきます。



夏ギフト・手みやげセット

○大きく広がれ、^{たかはしぢゃ}高梁茶`

J A 晴れの国岡山びほくお茶部会は、令和2年度から「お茶のブランド力向上プロジェクトチーム」を立ち上げ、商品開発やPR活動を展開しています。

今年度は、新たに業務用商品の試験販売を、高梁市図書館の「×梁（かけはし）おべんとうマルシェ」で行いました。

他にも、岡山デスティネーションキャンペーン「WEST EXPRESS 銀河」の乗客や市内小中学校での出前授業等で、広く「高梁茶`」を配布しPRを行いました。



銀河の車内での配布

今後も、メディア等を活用し、「高梁茶`」の知名度向上を図っていきます。

6次産業化に関心がある方は…

食品衛生法の改正により、営業許可、食品表示など、6次化商品を取り巻く環境は大きく変化しています。研修会の開催など、普及指導センターは、関係機関と連携して6次産業化を推進しています。

まずは、お気軽にご相談ください。



乳牛の育成に取り組んでいます(大池山育成牧場)



大池山育成牧場は、県内で唯一の乳用牛の公共育成牧場です。ここでは地域の畜産振興を目的として、県内の酪農家から乳用牛の雌子牛を約1年間預かり、発育の良い健康な母牛になるよう育成しています。

当牧場は昭和47年に設立され、高梁市大池山育成牧場利用組合が管理しており、常時100頭以上の育成牛を、放牧を中心に飼養しています。また、約70haの牧草地を利用した低コストな飼料を生産するなど預託農家の負担軽減につながるよう、工夫して経営を行っています。

県民局では、市や家畜保健衛生所などの関係機関とともに、牧場での受胎率向上、疾病の予防や早期発見、定期的な衛生対策などの支援をしています。



広大な牧草地



育成牛の放牧



フォックスフェイスの販売に力を入れています



J A 晴れの国岡山びほく花木生産部会は、フォックスフェイスの知名度向上のため様々な取組を行っています。

毎年、初出荷時には高梁稻荷神社で奉納式を行い、多くのメディアで報道されています。また、出荷最盛期の10月上中旬にはフェアを市内で開催し、JR備中高梁駅に展示するなどPR活動を行っています。加えて、今年は総社市のJ A 晴れの国岡山山手直売所で10月8～10日に展示即売会を行い、買い物客にアピールしました。



奉納式



展示即売会



高粱農業士会の活動紹介



高粱農業士会は、県知事に認定された12名の農業士で、新規就農者の確保・育成や地域の農林業の活性化支援等に取り組んでいます。

今年度は、小学生（川上小学校）への農作業体験会でぶどうの袋掛け作業を行ったほか、コロナ禍で開催できなかった先進地調査研修会を3年ぶりに開催しました。先進地調査研修会では、吉備中央町でぶどう、ももを栽培する農業士

を訪問し、ぶどう産地における新規就農者確保の取組や、町営公共育成牧場跡地を活用して整備した10haのハイブリッドメガ生産団地を見学しました。



先進地調査研修会の様子



新規就農者募集に向けた情報発信



近年、県外から移住する就農希望者の人気は、県南部の岡山・倉敷や大阪に近い県東部に偏る傾向が強まっています。

そのような中、普及指導センターは少しでも多く就農希望者が高粱に関心を持ってくれるよう、就農情報サイト運営や県内スーパーでのチラシ配布、大阪でのポスター掲示、イオンモール岡山でのデジタルサイネージ活用など、あらゆる手段を使って情報発信の強化に取り組んでいます。

その結果、令和3年度は3人（トマト）、令和4年度は2人（ブドウ、トマト各1人）の新規就農研修生を確保しました。

新規就農者の確保が全国的に課題となっている中、引き続き情報発信を積極的に行い、他地域との差別化を図っていきます。



県内スーパーでのチラシ配布



ポスター掲示（大阪）



はじめまして！新規就農者を紹介します！



ふせ すすむ

布施 晋さん（有漢町・ぶどう）



2021年に東京から有漢へ移住し、ご縁があって2022年からぶどう農家として就農しました。多くの方々の手助けを受けてようやく収穫を終える事が出来ました。初めての農業なので反省点はたくさんあります。来年度以降はその反省点を踏まえて、さらに良いぶどうを作って行きたいです。

有漢の皆さんに大変お世話になって、ここまで来ることが出来ました。技術をしっかりと学び、地域の一員として少しでも早く一人前の農業者になりたいと思います。

みなみ たいき

南 大樹さん（川上町・ぶどう）



以前から、なにかしら土に触れる仕事がしたいと思っていました。高粱でぶどう農家と出会い、話を聞いたり作業を手伝ったりしているうちに、ぶどう作りの面白さを実感しました。

ぶどう栽培を始めて、いろんなところでぶどう栽培を学びましたが、高粱ほど形にこだわって芸術作品を作り上げるように栽培に取り組んでいる産地は無いと感じました。

これからも、ぶどう栽培をただお金を稼ぐためだけでなく、アートに取り組む気持ちでこだわりを持って極めていきたいと思っています。

たけい かずき

竹井 一騎さん（川上町・ぶどう）



子供の頃から自然の中で遊ぶのが大好きで、土に触れる仕事に就きたいと思っていました。手に職をつけたいという思いもあって、友達に紹介されてすごく興味を持ち、ぶどう作りをしたいと思いました。ご高齢の農家さんの園地を受け継ぎ、その方の思いも込めて1年間ぶどう栽培に取り組んでみて、自然を相手にする農業の難しさを実感しました。

今後は栽培技術をしっかりと習得して規模を拡大し、将来的には観光農園を開いて、他にはない独自のサービスで多くの人を楽しませられるようになりたいと考えています。一生懸命頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

※45歳未満、もしくは農業体験研修を経験して令和4年1月～12月に就農された方を掲載しています。

県は、県の新規就農者支援施策の基礎資料とするため、市と協力して毎年「新規就農者調査」を実施し、市内の新規就農者数を把握しています。

卒業や退職等により65歳未満で農業に専念される方は対象となる可能性がありますので、お声掛けさせて頂いた時には、調査に御協力をお願いします。



おめでとうございます！～令和4年度受賞者・受賞団体～



☆第55回岡山県農林漁業功労者表彰（知事表彰）

○農産部門 ^{ひらまつ} ^{みきお} 平松 幹男さん

ぶどうの3月加温栽培を産地で先駆けて導入し、また品種の組み合わせにより作業の分散化を図ることで安定した経営を実現されています。また、適期のホルモン処理で高い秀品率を維持されています。

研修生の親方農家として新規就農者の確保、育成に大きく貢献されました。



○畜産部門 ^{なべしま} ^{こうや} 鍋島 公也さん

びほく酪農組合の組合長や農業士として活躍されながら、積極的に飼料生産を行い地域の飼料供給に貢献されています。また、獣の隠れ家となる耕作放棄地を解消するため畑放牧組合を設立され、和牛放牧により獣害被害が大きく減少しました。

小学生の農業体験受入れや出前授業を行い、児童の食と農に対する関心を高める活動も続けられています。



☆第55回岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）

○農産部門 ^{こばやし} ^{みとし} 小林 三十二さん

地域で先駆けてももの晩生品種を導入し、収穫時期を分散させることで長期安定出荷を実現されました。また、県農業士会長やびほく桃部会長を歴任され、地域農業の担い手確保や部会の発展に大きく貢献されました。



○農産部門 ^{ほそかわ} ^{じゅんいち} 細川 潤一さん

夏秋トマト栽培において、養液土耕栽培の施肥方法を改良したり、細やかな管理で高収益を実現されています。びほくトマト部会副会長としてブランディングや新規就農者の受入にも積極的に取り組まれています。



☆岡山県知事感謝状

よしいえ ひとし
○吉家 仁さん

地域の課題を解決するため「西山維進会」を発足され、代表を務めながら和牛放牧を推進し、和牛飼育を軌道に乗せ、法人の基幹収益事業に発展されました。

また、県内外からの就農希望者を積極的に受け入れ、農業研修だけでなく地域住民との良好な関係づくりにも尽力し、就農へ導かれています。



☆大河賞（令和3年度）

ふじた いずみ
○藤田 泉さん（地域農業振興部門）

高粱紅茶の開発に尽力され、原料の茶葉を地元から買い取ることで、農家の意欲向上や紅茶を利用した商品開発で農商工連携にもつながりました。さらに福祉施設へ作業を発注するなど就労支援にも貢献されています。

また、びほくお茶部会を設立し、部会長として日本茶新ブランド「高粱茶`（たかはしぢや）」の商品開発・PRに取り組み、お茶生産者の就農にも尽力されました。



えぐさ こういち
○江草 孝一さん（畜産振興部門）

和牛繁殖、肥育一環経営と常に環境に配慮した衛生的な飼養管理を心掛けられ、現在では地域最大の畜産経営体となっています。

びほく肥育牛部会の部会長を長年務められ、備中牛のブランド化や肉質向上、学校給食、児童体験学習の受入等PR活動にも鋭意精力的に取り組まれるなど、畜産業の振興に貢献されています。



岡山県主催の共進会で入賞されました

☆令和4年度岡山県うまいくだもの共進会
〈岡山県ピオーネ・オーロラブラック共進会〉

（ピオーネの部）

岡山県農業共済組合長賞 小見山 茂樹さん

優秀賞 橋本 憲さん

奨励賞 森川 浩吉さん

奨励賞 川上 啓介さん

☆第61回岡山県枝肉共進会
（第1部 和牛去勢の部）

最優秀賞

えぐさ くにあき
江草 国昭さん

（2頭）

（第2部 和牛雌の部）

最優秀賞首席 えぐさ こういち
江草 孝一さん

備中県民局農林水産事業部

備北広域農業普及指導センター

〒716-8585 岡山県高梁市落合町近似 286-1

革新農業推進班 0866-21-2850

担い手・農産班 0866-21-2851

園芸班 0866-21-2849

FAX 0866-22-4059

ホームページ

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/107/>

高梁地域の就農情報

<https://www.pref.okayama.jp/site/587/>

農畜産物生産課

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083

畜産班 086-434-7033

FAX 086-425-4921